



平成19年4月26日
19諫道建第10号

国土交通省道路局長 殿

諫早市長 吉次邦夫



中期的な計画の作成にあたっての意見の提出について

標記について、別紙のとおり回答しますのでよろしく申し上げます。

今後の道路政策や道路の整備・管理について

1 重点化を進める上で特に優先度の高い政策について

本市は、交通の要衝として発展した都市であり、近年の交通量の増加に伴い市内各地で交通渋滞が慢性化し、交通事故も多発しており、幹線道路及び交通安全施設の整備と合併に伴い新市における一体性の確保が急務となっている。

したがって、本市の地理的条件を踏まえ、交通利便性の高い広域交流拠点を目指すために、地域交流を促進する国・県道、幹線市道等の基幹道路の整備や渋滞解消のためのバイパス整備及び広域的アクセスを強化する地域高規格道路の整備が重要と考える。

また、安全・安心の観点から、地域住民の日常生活に密着した生活道路等の整備と安全で快適な歩行者空間を形成し、交通利便性を享受できるまちづくりを目指す。

2 効率化を徹底的に進める上で重視すべきことについて

限られた財政力のもと、道路整備の必要性及び緊急度などの事業評価を徹底することが重要と考える。また、生活環境に配慮した道路規格の決定や工法の工夫を行い、道路建設や管理にかかるコストをもっと減らす努力をしなければならない。

3 その他、道路政策や道路の整備・管理全般に関することについて

これまで整備された橋梁などの道路構造物の老朽化が集中的に進むことにより、その対応に要する事業費の増大を予想している。

このような状況を踏まえ、基幹道路の整備の充実と併せて、維持補修事業に係る補助制度の充実が重要と考える。